

問

带状疱疹ワクチン費用の補助の考えは

町長 早めの補正予算を視野に

带状疱疹とは

〔問〕带状疱疹は水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気である。体の左右どちらかの神経に沿って痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって带状疱疹に生じる。

80歳までに約3人に1人が発症すると言われており、個人それぞれに症状は違うが発症の部位によっては大変

な痛みを伴う。

〔答〕苦痛の原因となる带状疱疹予防策の一つとして50歳以上の町民に「带状疱疹ワクチン接種」にかかる費用助成の考えは。

〔町長〕国ではワクチンの定期接種化に向けての検討を進めているが、まだ任意接種の位置付けである。

带状疱疹は多くの人が罹患する可能性があり、带状疱疹後神経痛

などの合併症が残ること

〔町長〕とで長期間痛みを伴い日常生活に支障をきたすこともあり、医療費は高額になるので、費用対効果や近隣の市町村の動向をみながら今後検討していく。

〔問〕今後検討していくでは不十分であり、もっとはっきりした答えを聞きたい。

〔町長〕年度内の補正も視野に入れて検討する。



よご 余湖 龍三 議員

つらい带状疱疹！町の助成で早期のワクチン接種を！



問

地域おこし協力隊、将来の定住・起業は

町長

定住に向けた体制がとれるように

現在の応募状況は

〔問〕今年度は目的別に6名の募集をしているが応募状況ならびに見込みは。

〔町長〕4月からの任用を目指す地域おこし協力隊には2名の応募があり、現時点で定員を満たしていないので随時募集をしていく。

募集職種についても本町の情勢の変化や応募の協力隊員との面談などを通じ柔軟に対応したいと考えている。

〔問〕新得町で行われている募集の方法は3年後の定住・起業する確率



が非常に高く一定の効果を残している。

〔町長〕本町でも来年度以降は町内の残したい業種や必要な事業に特化した目的に沿った募集要項にすべきでないか。

〔町長〕地域おこし協力隊を活用した先進事例では、それぞれの特色に合った取り組みが実践され一定の効果を発揮している事例もあるがなかなか難しいと思っている。

第3者継承も含め議会とも相談して今後定住化に向けた体制がとれるようにやりたい。

このほかに「メロン栽培の振興策について」の質問をしました。

